

DIALOG(R) File 347:JAPIO
(c) 2003 JPO & JAPIO. All rts. reserv.

04306314 **Image available**
COORDINATE INPUT DEVICE

PUB. NO.: 05-298014 [JP 5298014 A]
PUBLISHED: November 12, 1993 (19931112)
INVENTOR(s): OBA TOMOFUMI
APPLICANT(s): TAKAOKA ELECTRIC MFG CO LTD [000284] (A Japanese Company or
 Corporation), JP (Japan)
APPL. NO.: 04-127977 [JP 92127977]
FILED: April 22, 1992 (19920422)
INTL CLASS: [5] G06F-003/03; G06F-003/03
JAPIO CLASS: 45.3 (INFORMATION PROCESSING -- Input Output Units)
JOURNAL: Section: P, Section No. 1695, Vol. 18, No. 100, Pg. 77,
 February 17, 1994 (19940217)

ABSTRACT

PURPOSE: To input both of an absolute coordinate and a relative coordinate with one coordinate input device.

CONSTITUTION: This coordinate input device is composed of a detector 1 which can input the absolute coordinate and the relative coordinate, and pointing device 2 connected to the detector 1 so as to exchange data with this detector 1. A CPU 5 is incorporated in the detector 1, at this CPU, data processings are performed respectively at the time of inputting the absolute coordinate and the relative coordinate, and transmission to a host computer 9 for image processing is performed with respective data formats at the time of inputting the absolute coordinate and the relative coordinate. The pointing device 2 is provided with a switching button 3 for switching the absolute coordinate input and the relative coordinate input, coordinate point deciding button 10 for deciding the coordinate point at the time of input, and coordinate point cancel button 11 for canceling the coordinate button.

DIALOG(R) File 345:Inpadoc/Fam. & Legal Stat
(c) 2003 EPO. All rts. reserv.

11488873

Basic Patent (No,Kind,Date): JP 5298014 A2 931112 <No. of Patents: 001>

PATENT FAMILY:

JAPAN (JP)

Patent (No,Kind,Date): JP 5298014 A2 931112

COORDINATE INPUT DEVICE (English)

Patent Assignee: TAKAOKA ELECTRIC MFG CO LTD

Author (Inventor): OBA TOMOFUMI

Priority (No,Kind,Date): JP 92127977 A 920422

Applic (No,Kind,Date): JP 92127977 A 920422

IPC: * G06F-003/03

JAPIO Reference No: ; 180100P000077

Language of Document: Japanese

File 351:Derwent WPI 1963-2003/UD,UM &UP=200358
(c) 2003 Thomson Derwent

	Set	Items	Description
	---	-----	-----
? s	pn=jp	4299724	
	S1	0	PN=JP 4299724
? t	s1/9		

1/9/1

>>>Item 1 is not within valid item range
? s pn=jp 5298014
S2 0 PN=JP 5298014



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平5-298014

(43) 公開日 平成5年(1993)11月12日

(51) Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 3/03	3 8 0 M	7165-5B		
	E	7165-5B		
	3 1 0 J	7165-5B		

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平4-127977

(22) 出願日 平成4年(1992)4月22日

(71) 出願人 000002842

株式会社高岳製作所

東京都千代田区大手町2丁目2番1号

(72) 発明者 大場 智文

愛知県西春日井郡西枇杷島町芳野町3丁目

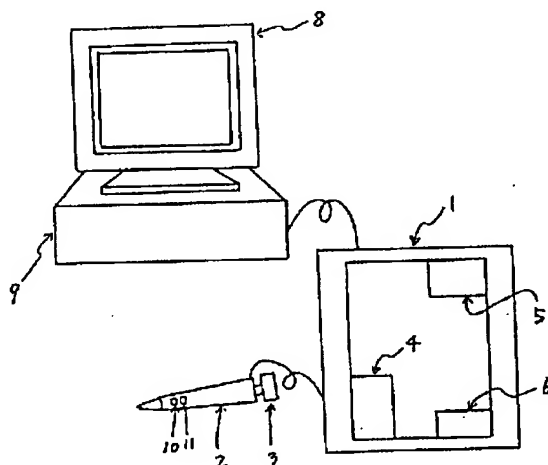
1番地 株式会社高岳製作所名古屋事業所
内

(54) 【発明の名称】 座標入力デバイス

(57) 【要約】

【目的】 1つの座標入力デバイスで、絶対座標入力及び相対座標入力を可能にする。

【構成】 座標入力デバイスを、絶対座標入力及び相対座標入力可能な検出装置1と、検出装置1に接続されてこの検出装置1との間でデータのやり取りを行うポインティングデバイス2で構成する。検出装置1の内部には、CPU 5が組み込まれており、ここで絶対座標入力時と相対座標入力時のそれぞれのデータ処理を行い、絶対座標入力時と相対座標入力時のそれぞれのデータフォーマットで画像処理用のホストコンピュータ9へ送信を行う。ポインティングデバイス2には、絶対座標入力と相対座標入力を切り替える切替ボタン3と、入力時の座標点の決定及び取消を行う座標点決定ボタン10及び座標点取消ボタン11を有する。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 絶対座標入力及び相対座標入力を有する検出装置と、この検出装置に接続されてこの検出装置との間でデータのやり取りを行うポインティングデバイスとを備え、

このポインティングデバイスは、前記検出装置の絶対座標入力と相対座標入力を切り替える切替ボタンと、座標点の決定及び取消をする座標点決定ボタン及び座標点取消ボタンとを有する、座標入力デバイス。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、画像処理システムにおける座標入力デバイスに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、座標入力デバイスには、絶対座標を入力するデジタイザ及び相対座標を入力するマウスなど2種類の座標入力デバイスが独立して存在していた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 このため、座標入力方法が異なるので、2つの座標入力デバイスが必要であった。そこで、本発明は1つの座標入力デバイスで、絶対座標入力及び相対座標入力を可能にするものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】 絶対座標入力及び相対座標入力を有する検出装置と、この検出装置に接続されてこの検出装置との間でデータのやり取りを行うポインティングデバイスとを設ける。このポインティングデバイスには、前記検出装置の絶対座標入力と相対座標入力を切り替える切替ボタンと、座標点の決定及び取消をする座標点決定ボタン及び座標点取消ボタンとを設ける。

【0005】

【作用】 本発明に係る座標入力デバイスは、1つの座標入力デバイスで、絶対座標入力及び相対座標入力の2つ異なる座標入力が可能なため、その使用目的にあった座標入力を容易に選ぶ事ができる。

【0006】

【実施例】 以下、本発明の実施例を図面に基づいて詳細に説明する。

【0007】 図1は、本発明の構成図である。

【0008】 図1に示すように、絶対座標入力と相対座標入力の両方の座標入力機能を持つ検出装置1には、I/Oインターフェイス4、CPU5及びメモリ6が設けられる。検出装置1に信号線によって接続されたポインティングデバイス2には、検出装置1の絶対座標入力と相対座標入力を切り替える切替ボタン3、座標点の決定を行う座標点決定ボタン10及び座標点の取り消しを行う座標点取消ボタン11が設けられる。検出装置1における絶対座標入力と相対座標入力との切り替えは、ポインティングデバイス2の切替ボタン3を押すことによ

り、ポインティングデバイス2からの出力信号が、検出装置1のI/Oインターフェイス4を通してCPU5に割り込みをかける。

【0009】 その割り込み処理の中でCPU5が、メモリ6が有している図2に示すステータス判定の番地7の1ビット目に1をセットし、もう一度ポインティングデバイス2からの割り込みがかかると番地7の1ビット目を0にクリアする。

【0010】 この割り込み処理をポインティングデバイス2から割り込みがかかるたびに繰り返すことにより、このステータス判定の番地7の1ビット目に1がセットされていれば絶対座標入力、このステータス判定の番地7の1ビット目が0ならば相対座標入力として、検出装置1自体が判定を行い、絶対座標入力と相対座標入力のそれぞれの検出処理プログラムを実行することができる。

【0011】 座標データの検出としては、絶対座標入力時の座標データの場合、図3に示すように、CRT8の画面の座標と検出装置1の座標を1対1で対応させるように設定し、検出装置1のある座標点(X, Y)をポインティングデバイス2で指定することにより、その座標点のデータを絶対座標入力のデータフォーマットでホストコンピュータ9に送信し、そこでホストコンピュータ9がその座標データを絶対座標入力のデータである事を判定して、絶対座標入力を処理するプログラムを実行する。

【0012】 ホストコンピュータ9はその処理したデータを伝送線により接続されているCRT8の画面上に表示させ、その座標点を確定する場合には、ポインティングデバイス2の座標点決定ボタン10を押す事により、座標確定のデータを検出装置1がホストコンピュータ9に送信して座標点を確定し、その座標点の確定を取り消すときには座標点取消ボタン11を押す事により取消を行う。

【0013】 相対座標入力時の座標データの検出としては、図4に示すように、ポインティングデバイス2で、検出装置1を最初に指定した座標点(X, Y)の値を検出装置1のCPU5がメモリ6に座標データとして保持しておく。

【0014】 その最初に指定した座標点(X, Y)と検出装置1につけたまま移動したときの座標点(X1, Y1)との差分(X-X1, Y-Y1)の座標データを検出装置1のCPU5が相対座標入力のデータフォーマットで送信し、そこでホストコンピュータ9がその座標データを相対座標入力のデータである事を判定し、相対座標入力を処理するプログラムを実行する。

【0015】 ホストコンピュータ9はその処理したデータを伝送線により接続されているCRT8の画面上に表示し、その座標点を確定したい場合には、ポインティングデバイス2の座標点決定ボタン10を押す事により、

3

4

座標確定のデータを検出装置1がホストコンピュータ9に送信して座標点を確定し、その座標点の確定を取り消すときには座標点取消ボタン11を押す事により取消を行う。

【0016】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、1つの座標入力デバイスで、絶対座標入力及び相対座標入力を行う事が出来るので、その入力作業が容易になる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のシステム構成図である。

【図2】検出装置内部のメモリが有するステータス判定の番地を示す図である。

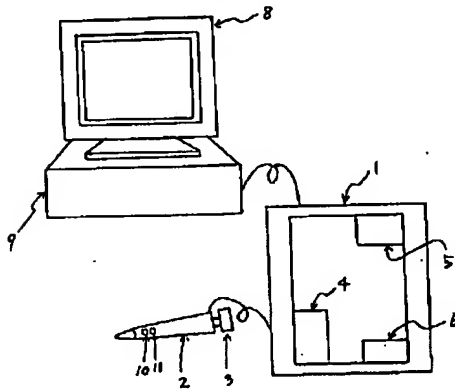
【図3】絶対座標入力時の動作を説明するための図である。

【図4】相対座標入力時の動作を説明するための図である。

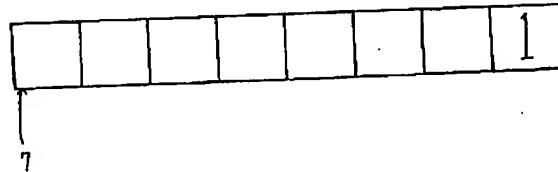
【符号の説明】

- 1 検出装置
- 2 ポインティングデバイス
- 3 切替ボタン
- 4 I/Oインターフェース
- 5 CPU
- 6 メモリ
- 10 7 メモリが有するステータス判定の番地
- 8 CRT
- 9 ホストコンピュータ
- 10 座標点決定ボタン
- 11 座標点取消ボタン

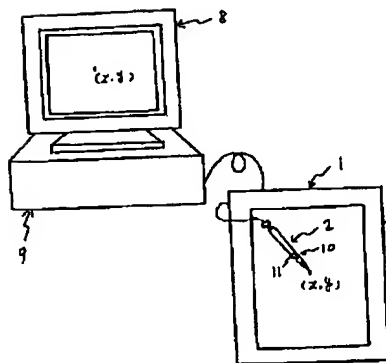
【図1】



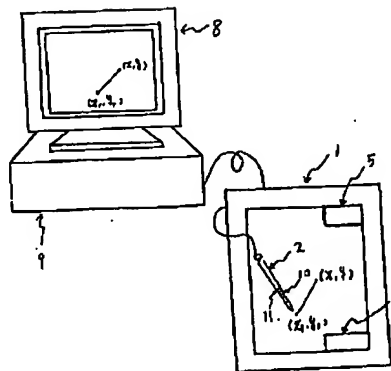
【図2】



【図3】



【図4】



1

1